

<総合健康学科> (認定課程: 中高一種(保健体育)免許状)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1学期	○大学での学びを通して、体育分野と保健分野の関連を含む保健体育教育の全体像について理解することができる。また「体づくり運動」や「器械運動」などの実技系科目の学修により、その分野に関する基礎的知識や技能が身についている。
	第2学期	○「陸上競技」や「ダンス」などの実技系科目を学修することにより、その分野に関する基礎的知識や技能が身についている。運動と身体との関係を解剖生理学的観点から学ぶことで、生命を維持する器官およびその機能に関する基本的な事柄が理解できている。また健康教育に必要な知識を修得し、学校教育における子どもの安全管理や心身の健康管理に関する基礎的知識や技能を身につけている。
2年次	第1学期	○教育の理念をその思想と歴史を通して学び、教職の意義及び教員の担うべき役割と職務内容、学校教育を支える制度的な諸条件に関する基本的な知識を理解することができる。また特別支援教育の理念や概要について学修することで、教職をめざすものとしての基礎を身につけている。 ○「バレーボール」などの実技系科目の学修により、その分野に関する基礎的知識や技能が身についている。予防医学的な観点から、健康の保持増進、疾病予防、健康回復を支援するための基礎的知識や技能を理解することができる。また心肺蘇生法などの救急処置法を学ぶことで、日常生活や運動中に生じる突発的な傷害についての処置法や予防法を身につけている。
	第2学期	○教育課程や教育の方法及び技術についての学びを通して、教科教育に関する実践力の基礎を養う。また子どもの発達や教育相談について理解を深め、児童・生徒理解や支援に関する基礎的理論と方法を身につけることができる。 ○「バスケットボール」「武道」などの実技系科目の学修により、その分野に関する基礎的知識や技能が身についている。また乳児期から老年期にわたるライフサイクル上の精神的健康や障害について学ぶことで、精神的健康の保持・向上や精神的障害の予防・治療について理解することができる。
3年次	第1学期	○道徳教育の意義と指導法や特別活動の教育課程上の位置づけと諸分野を学ぶことを通して、それぞれの指導法を修得している。また2年次までに学んだ基礎的な理論・技術及び獲得した指導法をもとに、「教科教育法」において教科の教育内容及び教育課程上の位置づけを理解し、教科教育の実践力を身につけることができる。さらに中学校教諭免許状取得希望者は、「介護等体験」に参加することで、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深める。 ○「ソフトボール」などの実技系科目の学修により、その分野に関する基礎的知識や技能が身についている。「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」など、体育に関する理論を理解している。また保健体育科指導法を学ぶことで、学習指導要領の内容を理解するとともに、学習指導案の作成を通して、基本的な授業構想力を身につけている。
	第2学期	○生徒指導・進路指導の理論及び指導法を身につける。1学期に引き続き、教科の教育内容及び教育課程上の位置づけを理解し、教科教育の実践力を養う。さらに「介護等体験」に参加することで、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることができる。 ○「スポーツ運動学」などの学修を通して、スポーツを科学的に理解する姿勢や態度、能力が培われている。また体育実技・保健授業に関する学習指導案を作成し、模擬授業を行うことによって授業実践の基礎が身についている。
4年次	第1学期	○これまでの学びをもとに、「教育実習」において学校教育の実際について観察・参加・実習を行い、指導者という体験をもとに教職への意欲を高め、教育に関する技術等を修得するとともに、理論と実践の往還によって実践的指導力を身につけることができる。 ○教育実習事前指導により、教職に関する知識を深め、教育実習の意義や目的・内容について理解することができる。教育実習に参加することで、教職者に求められる使命感や実践力を修得し、教職に必要な資質能力を育成する。教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の課題を明らかにするとともに、教職への意志を確認することができる。
	第2学期	○4年にわたる「学びの軌跡の集大成」と位置づけられる「教職実践演習」において教員になる上での課題を自覚し、不足している知識や技能を補い、その定着を図ることで、次年度からの教職生活に備える。 ○保健体育科教諭に求められる専門知識及び技能が身につけていることを確認する。また教科指導のみならず、生徒や学校、家庭や地域社会について理解を深め、職場や地域社会の人々と友好的関係を保持し、教員として信頼されるような実践力を修得することができる。